

年に1回、4月にウインドサーフィンのレースを仲間と主催している。名づけて「全日本シニアレーシング(注1)」。40歳以上を中心に、アマチュアなら誰でも参加出来る。全国から約1000人の猛者たちが、神奈川県三浦海岸に集合する。平均年齢およそ50歳。言ってみれば、遊びの達人たち。みんな、この日を待ちわびているのだ。

「おう!どや腎臓の方は?」
「胃は半分取ったけどな」
「この冬風、通風怖いな」
会話が一目、痛々しい。ところがどっこい、この面々の活動の凄まじいこと!レースでの活躍の頼もしいこと!

最高年齢の出場者は70歳だ。この男性は、50歳を過ぎてからウインドサーフィンを始めた。しかも元々スポーツとは無縁。むしろ、細くて弱々しい身体つきだ。ところがこの人、昨年の大会で、優勝を成しとげそうになったのだ。

みんなが驚き、あきれた。何に「あきれた」かというと、彼の遊びにかける情熱にある。暑い夏はもちろん、雪の降る冬でも海に出る。自営業の仕事が終わると電車に飛び乗って海に駆けつける。この遊びに掛ける情熱には脱帽だ。彼から見れば、50歳そこそこのイシマルなど、ヒヨッコもいところなのだ。

シニアとはいえ、ウインドサーフィンのレースとは、時速40キロを越えるスピードレース。「おお、勝ち上がったぞ」。60歳のおいちゃんが吼えている。「うへへぶっ跳ばされてしまったわい!」と、58歳のおいちゃん。道具が壊れ、300メートルほど泳いで帰ってきたそうだ。

夜はイベント盛りだくさんのパーティーで、グラスを傾ける。日に焼けた笑顔が眩しい。そして何より面白いのは、長い年月一緒にウインドサーフィンをしているにもかかわらず、いまだにその人たちの職業を知らなかったりするのだ。いいなあ、こういうのって。

【朝日新聞・マリオン】

2006年11月15日掲載

注1 現在「ザ・マスターズ」と改名。

次回の「ザ・マスターズ」20

08は2008年4月20日

& 21日。三浦半島津久井浜&

三浦海岸で開催予定。